

平成16年度学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	64	学校名	県立小川高等学校				課程	全日制		学校長名	大川晋一					
教頭名	井坂隆								事務(室)長名	鈴木良一						
教職員数	教諭	20	養護教諭	1	常勤講師	4	非常勤講師	5	実習教諭, 実習講師, 実習助手	1	事務職員	2	技術職員等	2	計	35
生徒数	小学科	1年		2年		3年		4年		合計		合計クラス数				
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女					
	普通科	38	53	55	58	30	64			123	175	9				
	科															
	科															

2 目指す学校像

社会の変化に柔軟に対応し、地域社会の中心的存在として活躍できる、次世代を担う人材を育成するための地域に開かれた学校

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項目	現状分析	課題
学習指導	高校生としての基礎学力が身につけていない生徒が多い。	予習・復習を中心にした毎日の学習習慣を確立させること。
進路指導	3年生段階で進学希望者が約70%いるが、進路実現のための取り組みが遅れている。	進学希望者・就職希望者ともに進路目標を早期に決定させること。
生徒指導	学校内外での生活態度や、服装・あいさつなどの基本的な生活習慣が身につけていない生徒がいる。	社会のルールを守ることと自分をみかくことの大切さをどのように意識させるか。
特別活動	生徒会活動は活発であるが、部活動ではライフル射撃部と少林寺拳法部を除いて各種大会など参加しても入賞できない。 全般的に運動部の活動が低調である。	がしてつ（鹿島鉄道）応援団などを継続的に活動させることと、グラウンドでの運動部の活動をどのように活性化させるか。

4 中期的目標

1	目指す学校像を，校内（生徒，職員）校外（PTA，地域の方々）へ周知する努力を続ける。
2	高校生らしい服装・あいさつなどの基本的な生活習慣を身につけさせる。
3	グラウンドや体育館での運動部の活動を活性化させる。そのために，ライフル射撃部と少林寺拳法部以外の部活動が県南地区大会などに入賞できるようにする。
4	国立大学への現役合格者をできるだけ多く出す。

5 年次ごとの重点目標

年次	重点目標	具体的目標	達成状況
1年次	学校の将来像の明確化	目指す学校像の，校内（生徒，職員）校外（PTA，地域の方々）への周知を図る。	
	生徒指導の徹底	高校生らしい服装・あいさつなどの基本的な生活習慣を重視した指導をする。	
	部活動の振興	システム化した生徒指導を実施する。 グラウンドや体育館での運動部の活動を活性化するための部活動加入者の増加を図る。	
	生徒の実態に合ったきめ細やかな進路指導の実施	国立大学への現役合格者を一人でも多く出す努力をする。 私立大学・専門学校への進学希望者の進路実現	
2年次	学校の将来像の明確化	目指す学校像の，校内（生徒，職員）校外（PTA，地域の方々）への周知活動を継続する。	
	生徒指導の徹底	システム化した生徒指導をより一層の推進する。	
	部活動の振興	グラウンドや体育館での運動部の活動を活性化を継続するとともに，各種大会（地区予選など）での入賞を目指す。	
	生徒の実態に合ったきめ細やかな進路指導の実施	国立大学への合格者を一人でも多く出す努力を継続する。 私立大学・専門学校への進学希望者の継続的な進路実現を図る。	
3年次	学校の将来像の明確化	インターネットHP（ホームページ）を活用した継続的な情報発信を行う。 市町村広報誌をとおしてのPRを図る。	
	生徒指導の徹底	基本的な生活習慣を重視した指導と生徒の変化の兆しを見逃さない対応を図る。	
	部活動の振興	全国大会などに出場しているライフル射撃，少林寺拳法部の躍進を図るとともに文化部の活動を活発にする。	
	生徒の実態に合ったきめ細やかな進路指導の実施	国立大学への現役合格者を一人でも多く出す努力を継続する。 私立大学・専門学校への進学希望者の継続的な進路実現を図る。	